

令和2年度 学校評価報告書

丹波篠山市立篠山小学校

校長 源 浩貴

1 学校教育目標等

夢を持ち やさしい かしこい たくましい ささっ子の育成

2 今年度の重点目標

- 国語科を中心とした研究を組織的に推進し、授業改善と学力向上に務めるとともに、教職員の指導力向上を図る。
- 生徒指導の充実を図り、教職員の協働体制を確立する。
- 「ふるさと教育」を推進し、ふるさとを愛する児童の育成に向け、体験活動や交流事業を進める。
- 親しまれ、開かれた学校づくりに努め、教育活動を地域に発信する。
- 教職員の勤務時間の適正化を進めるとともに、働きやすい職場づくりを進める。

3 学校自己評価結果

(達成状況…A：よく達成できた B：達成できた C：やや課題が残る D：改善を要する)

分野	評価項目	達成状況	取組状況・改善方策
学 習 指 導	「すべての子が『わかる・できる』考えることが楽しくなる授業づくり ～国語科授業のユニバーサルデザイン化～」を目指した授業づくりに努める。	B	校内研究会を年間6回（授業研究会3回、理論研修会3回）実施し、教職員の授業力向上が図れた。 読書力向上のため「読書週間」「家読の日」を設定し、取り組みを進めたが読書率の改善にはならなかった。今後、新たな取り組みを模索していく。
	基礎・基本の定着、学習規律の確立、学習意欲向上を図るため、楽しくわかる授業づくりに努める。	B	朝の学習タイム、水曜日の放課後学習の定着が図れ、充実した取り組みが出来た。 「学習が理解でき、出来るようになったことがたくさんある」と答えた児童が92%であり、取り組みの成果がでた。
生 徒 指 導	いじめ・暴力・不登校の未然防止のため、いじめアンケートや教育相談を実施し、児童理解・指導等に活かす。	B	年3回のいじめアンケートを実施し、その結果をもとに生徒指導委員会で組織的に対応した結果、いじめ解消率100%である。また、年3回の教育相談週間を実施し、生徒理解に努め、問題行動の未然防止にも努めた。
	元気な学校、温かい学校づくりのため、明るく元気な挨拶、優しい言葉かけに努める。 行事・体験活動・児童会活動を充実させ、いきいきとした学校づくりに努める。	B	児童会の各委員会が教師の指導のもと昨年度以上に機能し、学校生活の安定が図られた。更に、来年度は今以上の児童会の活性化を進め、自主的な活動を支援していく。 人権朝会を年間12回計画していたがコロナウイルス感染拡大の影響で数回実施できなかった。しかし、学活や道徳の授業で人権意識の高揚に努められた。 元気な学校として朝会や終会等で挨拶を呼びかけたことで児童・保護者アンケートで挨拶が出来ているという割合が増えた。

保護者・地域との連携	開かれた学校づくりのために、学校だより・学級通信・HP等での情報発信に努める。	B	毎月の学校だより全戸配付、HPの積極的な更新、週1回以上の学級だより等、地域や保護者に学校行事等の情報発信がきた。
	外部講師の招聘を積極的におこなったり、オープンスクール等を実施したりして親しまれ、開かれた学校づくりを進める。	B	コロナウイルス感染対策のためオープンスクールの実施や敬老会との交流事業等ができなかった中、お城ガイド、オオムラサキの飼育、プロの料理人に学ぶ等、感染対策を取りながら従来の取り組みや新たな取り組みを計画し、親しまれ、開かれた学校づくりを進めた。

4 学校関係者評価結果

(1) 重点目標についての評価

<ul style="list-style-type: none"> ・篠山小学校の教育を進める上で素晴らしい目標が設定されている。 ・篠山小学校は歴史ある学校なので、歴史を教えると同時に「ふるさと教育」に力を注ぎ丹波篠山が好きだという児童を100%にしてほしい。
--

(2) 総合的な評価（意見・感想）

<ul style="list-style-type: none"> ・安全点検で遊具の亀裂やタイヤの劣化が問題になっているが早期に改善していく必要があるのではないかと。 ・篠山小学校の児童が登下校をするとき、裏門と正門の2カ所から登下校をしているが、安全上で問題は無いのか。一カ所にした方がいいのではないかと。 ・読書習慣の数値がなかなか上がらないが、充実できるように積極的な声かけが必要である。ただ、読書習慣を付けるのは家庭での取り組みが重要になってくると考える。保護者への啓発も含め、今後の取り組みに期待する。

(3) 学校自己評価の結果及び改善方策についての評価

分野	学校自己評価の結果及び改善方策についての評価
学習指導	<ul style="list-style-type: none"> ・国語科でユニバーサルデザイン化の授業研究を進め、誰にでもわかる授業づくりを進められ、低位層の底上げにつながっていったことは良いことである。 ・子どもの読書離れが気になる。新たな改善方法を模索して、児童の読書量の増加に繋げてほしい。 ・「毎日の授業が楽しい」と感じる児童が多く、「学校でわかるようになったことがたくさんある」が90%なのは素晴らしい。今後も児童がいきいきと活動し、自分の思いをしっかりと表現できるよう継続的な指導をお願いしたい。
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度もいじめ解消率が100%であることは素晴らしい。今後もアンケートや教育相談を充実し、児童のより良い成長に繋げていってほしい。 ・あいさつについて、子どもたちの意識が少しずつ高くなっていったことは良いことである。更に良くなるよう取り組みを進めてほしい。 ・不登校傾向にある児童の学習面、生活面の支援を関係機関と連携し、早急に進めていく必要がある。
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度はコロナウイルス感染防止のため、行事が制限されたが、その中でも感染予防を取りながら、多くの行事を進めて行かれたことは評価する。来年度も感染予防対策を取りながら工夫した形で取り組みを進めてほしい。 ・オープンスクールが中止となり、保護者や地域の方々が学校に来られることが少なかったが、学校だよりや学級通信、ホームページで情報を発信していただいたことは良かった。来年度以降も積極的な配信を期待する。 ・学校運営協議会事業としてミュージカル鑑賞ができたことは良かった。来年度も継続して行けたら良いと考える。

